

# NSパス蓋付 施工手順

## ご注意

●冬季(10°C以下) 施工の場合、貼付け前に必ず加温してください。癖が残ったまま床に貼付け、その後の上から加温すると、形状が戻らず蓋が閉まらなくなります。光沢の変化を防止するため、裏面からの加温をおすすめします。

## 1 下地の確認

湿気のない平滑な下地であることを確認してください。凹凸がある場合は、ケレンや補修材による補修を行ってください。

## 2 割付け

「NSパス蓋付」の取付け位置に、「NSパス蓋付」底部の幅寸法(約55mm)で、勾配に対して直角に排水溝いっぱいまで下地に割付け線をつけてください。(図1)

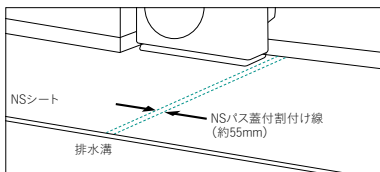


図1

## 3 接着剤の塗布、NSシートおよび「NSパス蓋付」の貼付け

NSパス蓋付をカットします。蓋開閉部分は硬い素材のため、モールカッターを使用するか、カッターで切れ目を入れて折るようにしてください。また、固定材を取付ける場合は取付けたい部分のみ「NSパス蓋付」の蓋を切抜いてください(6cm程度)。(図2)

この時、蓋に設けられている切込み線を目安に直角定規を位置合わせし、カットしてください。(図2・図3)

なお、ホース固定材は壁側から5cm以上離れた場所に取付けてください。下地に指定接着剤を塗布し、オープンタイムを取った後、「NSパス蓋付」および2.5mm厚のNSシートを隙間ができないように貼付けてください。

「NSパス蓋付」は指圧またはハンドローラーで、蓋の上部から底部にしっかりと接着剤が付着するように圧着してください。(図4)

(注) 施工途中に蓋が開いた際は、指圧またはハンドローラーで蓋の上部から押込むと、簡単に蓋が閉まります。

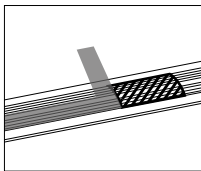


図2

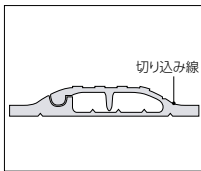


図3

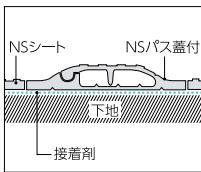


図4

## 4 継目処理

接着剤が充分乾燥した後、NSシートと「NSパス蓋付」の継目(両側)を専用溶接棒にて熱風溶接します。(図5)

必ずU字カットした上で溶接し、シート表面で余盛り部分をカットして仕上げてください。

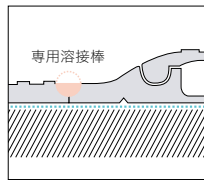


図5

## 5 端部シール処理

接着剤が完全に硬化した後、東リNSシール(もしくは東リNSシールII)にて端部処理を行ってください。(図6)

なお「NSパス蓋付」の排水溝側にはシール処理を施さないでください。

(排水の妨げとなります)

## 6 ホース固定材の取付け

① NSパス蓋付上で、壁から5cm以上離れた場所且つ歩行の妨げとならない場所をNSパス用ホース固定材の取付け位置とし、その場所の油、水分、埃等を除去してください。(図6)

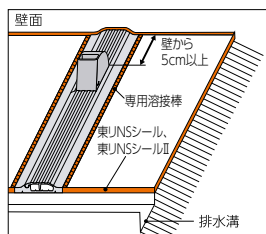


図6

② ホース固定材裏面外枠に瞬間接着剤を均一に塗布してください。(図7)

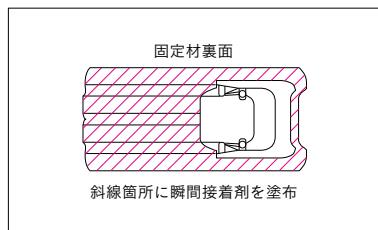


図7

③ 側面に表記している「◁」が流水下部(排水溝の方向)を指すようにして、取付け位置に押し込み、指圧で圧着してください。

(図8・図9)

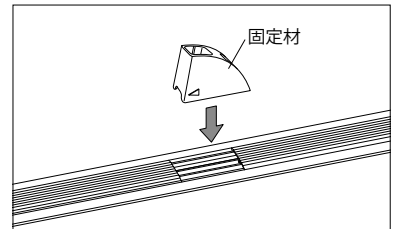


図8

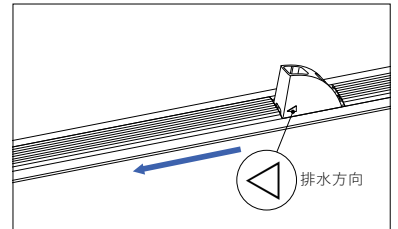


図9

④ 接着剤硬化後(1日以上放置)、排水ホースをホース固定材に通してください。

## (ご注意)

- 排水ホースは必ず、接着剤硬化後(固定材取付けから1日以上放置)に設置してください。
- 固定材は必ず、固定材側面に表記している「◁」が排水溝の方向を向くように取付けてください。逆向きに取付けると、排水できなくなります。

## 詰まった場合のメンテナンス方法

「NSパス蓋付」の蓋部分を排水溝側からめくりあげ、内部をきれいに清掃してください。清掃後、蓋を本体に押し込み、元の状態に戻してください。

(注) 低温時に蓋をめくり上げる際、蓋部分等を強く曲げると、割れたり白化する可能性があります。